

広沢小学校  
学校通信

# 希望の鐘

桐生市立広沢小学校  
平成29年9月20日  
第9号 児童数512名

## 努力の向こうの栄光を

今年の運動会スローガンは、「つかみとれ 努力の向こうの 栄光を」です。6年2組山田澪奈さんの作品です。九州に接近中の台風18号と前線の影響で午前中はくもり、午後は雨が予想されていましたが、暑すぎず最高のコンディションで、無事すべてのプログラムを終了できました。

赤団の赤は、元気の赤。白団の白は、正しさの白。青団の青は、さわやかさの青。

広沢小の運動会は、団対抗が特徴です。3つの団に分かれて、たてわりの学年の結びつきを深めることができました。3週間あまり練習してきた成果をじゅうぶんに発揮しました。また、高学年は係の仕事も責任を果たしていました。接戦の末、優勝は青団でした。

多くの来賓の方や家族のみなさんも楽しみ、喜んでくれた広沢小の運動会でした。

みなさん、感動をありがとう！このがんばりを、これからの学校生活にも生かしましょう。



リズムダンス「君に会えてよかった」1・2年



リズムダンス「友よ～この先もずっと」3・4年



表現「広沢七頭舞」5・6年

## 防災の話

毎年、9月1日は、「防災の日」です。防災の日とは『台風や津波、地震などの災害について知り、それらの災害についての心構えを準備するため』として決められました。昨年4月熊本地震が発生し、広沢小でも、募金や千羽鶴を広安小に送りました。今年7月に九州北部豪雨災害が発生

し、JRC委員会では、1学期に励ましの作文を送りました。

さて、雨の災害は日本各地で毎年のように起きています。世界でも起きていて、8月末には、アメリカテキサス州で、ハリケーン「ハービー」により、死者は50人を超え、多くの人々が家を失って避難しました。ヒューストンの製油所が被害を受け、ガソリンの価格もあがったそうです。その後も巨大ハリケーン「イルマ」「マリア」と発生が続いています。

日本の台風による被害は、今から58年前の9月26日に紀伊半島に上陸し、東海地方を中心に死者行方不明者5千人をもたらした伊勢湾台風があります。桐生でも過去に台風による大きな被害があったことを知っていますか。今から70年前の1947年(昭和22年)9月15日、カスリーン台風は関東と東北に大きな被害をもたらしました。利根川の中流の埼玉県今の加須市で起こった堤防決壊により、あふれ出した洪水は、関東平野を3日間かけて広がり、東京の東側を水没させました。渡良瀬川では、赤城山に降った雨が土砂崩れを起こし、桐生市や足利市では堤防が壊れて真夜中の町に水があふれ出し、たくさんの方が亡くなりました。カスリーン台風の死者行方不明者は2千人近くです。

秋は台風が接近しやすい時期です。集中豪雨が降ることもあります。広沢地区は、水路もたくさんあります。日頃から危険を予測して安全に行動し、避難場所の確認など災害に備える心構えを持ちましょう。

# 児童の活躍 表彰等の紹介



※Web版は  
姓のみ公開

## 9/12 全校朝会で表彰

- ・第54回桐生市小学校水泳記録会<7/27、5年生10名6年生19名が出場>
  - 5年男子50m自由形【第3位】霜村
  - 6年男子50m平泳ぎ【第3位】柿沼【第6位】剣持
  - 6年女子50m平泳ぎ【第3位】杵取山【第4位】高橋【第6位】木村
  - 5年男子50m平泳ぎ【第2位】奈良原【第5位】井出
  - 5年女子50m平泳ぎ【第4位】阿部、6年男子50m背泳ぎ【第2位】渡邊
  - 6年女子50m背泳ぎ【第3位】佐瀬、6年女子50mバタフライ【第2位】阿部
  - 5年男子50mバタフライ【第1位】川中子
  - 男子200mリレー【第5位】霜村、須江、奈良原、渡邊
  - 女子200mリレー【第6位】杵取山、高橋、阿部、佐瀬
  - 女子200mメドレーリレー【第6位】佐瀬、杵取山、阿部、高橋
- ・第13回桐生市マーチングフェスティバル【表彰状】
- ・第70回桐生市民体育大会水泳競技大会小学生女子100m自由形【第3位】100m平泳ぎ【第2位】3の3北爪日菜
- ・第46回桐生選手権剣道大会小学生女子基本の部【優勝】2の1福澤
- ・WROJapan北関東2017小学生部門【優勝】ロボット-HKY◆115系5の1佐藤
- ・第1回WROJapan群馬地区大会【第2位】広沢パーフェクトロボットチーム4の2橋本、3の3高橋
- ・日本善行会桐生支部善行表彰【表彰状】6の1阿部
- ・第19回関東学童秋季軟式野球大会桐生予選【優勝】広沢子供会
- ・第6回粕川コリエンテ杯2年生大会【優勝】桐生広沢FC
- ・第32回富士スバルカップミニバスケットボール大会【準優勝】桐生広沢ミニバス男子

## 宇宙旅行の証明書

「こども宇宙プロジェクトスマイルミッション2016」の宇宙旅行証明書と菜の花の種子が8月28日に届きました。当初2月に打ち上げ予定が、去年9月に起こったロケット爆

発事故の原因究明に時間が取られたうえ、天候条件に恵まれないなどで延期され、日本時間6月4日6時7分、笑顔のメッセージ写真、校章・園章ポスター、花の種子は、ドラゴン補給船11号機に乗って、アメリカ・フロリダ州のNASAケネディ宇宙センターからファルコン9ロケットで打ち上げられました。6月5日22時52分には国際宇宙ステーションのロボットアームが補給船をとらえ、写真などは日本実験棟「きぼう」に収納されました。

その後、地球の上空約400kmを宇宙旅行し、6月29日には宇宙飛行士が取り出して、観測ユニット「キューポラ」で、青い地球を背景に動画と写真を撮影しました。無重力空間に漂っているこの動画は後日、国際総合企画株式会社のWebページに掲載予定です。

約1か月の宇宙滞在の後、ドラゴン補給船11号機に移され、7月3日15時41分、国際宇宙ステーションを離れ、21時12分、アメリカ・カリフォルニア州南西沖の太平洋上に着水、地球に帰還しました。

夢のメッセージを持ったみなさんの写真が宇宙空間を旅しました。証明書は校長室入り口に掲示してあります。来校の際に、ご覧ください。また、宇宙に行った菜の花の種は、栽培委員会ですべて育てていく予定です。



通信文責：校長 伏島均